

平成27年度使用教科用図書選定のための資料

学校教育法附則第9条教科用図書（一般図書）

岩手県教育委員会



平成27年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（見本）理由書一覧

1 図書名

No.	出版社	書名	該当教科	障がい種	学部・学年等	価格
1	偕成社	あけてあけてえほん はこ	算数	肢体不自由	小学部・2年(特別学級)	¥648
2	えほんの社	じゃんけんでんしゃ	生活	知的障がい	小学部・3年	¥1,404
3	主婦の友社	ふれいぶつ	生活	視覚障がい	小学部・2年(特別学級)	¥1,404
4	偕成社	よろしくともだち	国語	病弱	小学部・3年(特別学級)	¥1,080
5	合同出版	ことばキャンプ3 ことばのけいこ ことばをしるチカラ	国語	聴覚障がい	中学部・2年(特別学級)	¥1,296
6	世界文化社	うたっておぼえる九九のえほん	算数	知的障がい	小学部・6年	¥1,543
7	福音館書店	おかしなおかし	国語	肢体不自由	小学部・4年(特別学級)	¥864
8	ナツメ社	子どもの生きる力を育てる せいかつの絵じてん	職業・家庭	知的障がい	中学部・2年	¥1,944
9	ひさかたチャイルド	ふしぎなふしぎなまほうの木	生活	知的障がい	小学部・3年	¥1,404
10	偕成社	きょうのごはん	生活	病弱	小学部・6年(特別学級)	¥1,296
11	ポプラ社	ぬりえでめちやめちやあそぶつ	美術	知的障がい	中学部・1年	¥972
12	学研	あそびのおうさまずかん もののなまえずかん	生活	知的障がい	小学部・4年	¥842
13	ポプラ社	音のでるはじめてのせかいちず	社会	病弱	中学部・1年(特別学級)	¥2,138
14	学研	あこがれお仕事いっぱい！ せいふく図鑑	職業・家庭	聴覚障がい	中学部・2年(特別学級)	¥1,728
15	草思社	みんなのためのルールブック	職業・家庭	知的障がい	中学部・3年	¥1,028
16	岩波書店	からだたんけん	理科	肢体不自由	中学部・2年(特別学級)	¥1,469
17	PHP研究所	にほんいっしゅう ちずのえほん	生活	聴覚障がい	小学部・5年(特別学級)	¥1,944
18	桜雲会	新・点字であそぼう	国語	視覚障がい	中学部・3年(特別学級)	¥1,620
19	玉川大学出版部	ともだち	国語	病弱	中学部・3年(特別学級)	¥1,296
20	成美堂出版	音と光の出る絵本 こぶたキッチンもりのレストラン	生活	知的障がい	小学部・4年(特別学級)	¥2,268

2 一般図書選定の理由書（次頁）



一般図書選定の理由書

番号	1
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	あけてあけてえほん はこ		発行者名	偕成社	
図書の内容	<p>あざやかな黄色のおもちゃ箱からは様々な形のおもちゃ、白い箱からはケーキ、真っ青な箱からは筆記用具、オレンジ色のお弁当箱からはおにぎりやおかずが出てくるというシンプルな内容の絵本である。</p> <p>色使いがはっきりしており、ページをめくることで色の変化に気づきやすく、児童が視線を向けやすいと考える。</p>				
対象学年	小学部 2年 (特別学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	算数
選定の理由	児童生徒の実態	<p>肢体不自由と知的障がいを併せ有する児童である。筋力が弱く、日常生活全般において支援を必要とする。</p> <p>声を掛けられたり、頬や頭をなでられたりすると笑顔を見せて喜ぶ。そばに大人がいないと、あたりを見渡して探すような様子がみられるようになってきた。</p> <p>朝の会では、自分が呼名されたことが分かり、口を開けたり、筋緊張が強くなければ発声して返事をしたりすることができるようになってきた。</p> <p>相手と視線を合わせることはまだ難しいが、ゆっくり動くものを追視するような様子がみられるようになってきているので、目の前にあるものに気付くことができる、あるいは注視することができるような支援をしていきたい。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 教師と一緒にゆっくりページをめくる。</p> <p>(2) 目の高さでページをめくりながら、「○○色の箱だね」という教師の声を聞きながら箱の色に注目する。</p> <p>(3) 箱から出てきた物の絵に教師と一緒に手を触れたり、提示された実物を目の前で触れたりする。</p> <p>(4) 繰り返し取り組むことで、ページをめくる度に色が増えたり、色が変わったりすることに気が付く。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の () は、訪問教育及び特別学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	2
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	じゃんけんでんしゃ		発行者名	えほんの杜	
図書の内容	<p>じゃんけんに興味があり、でんしゃごっこが好きな子どもが楽しめる、じゃんけんと食べ物の絵本である。かわいいキャラクターとして、カラフルに描かれているおにぎり、ハンバーガー、シュークリームなどの食べ物が、じゃんけんをしてでんしゃごっこをする内容である。</p> <p>身近な食べ物がたくさん出てくるので、食べ物当てっこゲームを取り入れたり、じゃんけんの場面では、「じゃん、けん、ぽん!」と掛け声を出したりしながら読み進めることができる。</p>				
対象学年	小学部3年	障がい種別	知的障がい	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達が、4歳程度の知的障がいのある児童である。日常生活動作は、ほぼ自立しており、簡単な内容であれば指示を聞いて行動できる。平仮名を読むことは難しいが、絵本に興味があり、気に入った絵本を読んでもほしいと要求することがある。おんぶや手をつなぐなどのスキンシップを好み、自分から友達にかかわりを求めることが多くみられる。また、食べ物に興味があり、好きな食べ物の名前を話すことができる。</p> <p>いろいろな食べ物について話したり、じゃんけんやでんしゃごっこで体を動かしたりしながら、友達と楽しくかかわり、コミュニケーションを広げることができる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 絵本を見ながら教師の読み聞かせを楽しむ。</p> <p>(2) 絵本を自由に見る。</p> <p>(3) 「たこ焼きはどれ?」「紫のクリームがはさんであるお菓子は?」などの当てっこゲームをする。</p> <p>(4) 絵本に出てくる様々な食べ物の名前を話したり、好きな食べ物を指差したりする。</p> <p>(5) 友達と役割を決めて、でんしゃごっこをする。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	3
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	ふれいぶつく		発行者名	主婦の友社	
図書の内容	<p>本書は、鮮やかな色のページに様々な形の穴があいており、つるつる、ざらざら、ポコポコ、ふわふわ、もこもこ、ピカピカなど触って確かめることができるしかけを、触ったり、見たりして楽しむことのできる絵本である。</p> <p>また、1ページの中に様々な形や模様、しかけがあるので、感触を楽しんだり、比較したりすることができる内容になっている。</p>				
対象学年	小学部2年(特別学級)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は両眼視力が0.01程度の児童である。知的な遅れもあり、知的発達は2～3歳程度である。ものを見るときは、視距離を5cmに近づけている。言葉によるコミュニケーションが難しい児童であるが、活動の流れが分かり、短い時間であれば席に着き課題に取り組むことができるようになってきている。また、音を頼りにしがちであるが、気になるものを指先で探索したり、さまざまな感触のものも恐る恐る触ってみたりしようとする様子も見られるようになってきている。</p> <p>本書を使用し、手先、指先で様々な感覚を味わったり、形の違い、色の違いに気付いたりすることができればよいと考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 教師と一緒に素材を触ってみる。</p> <p>(2) 教師と一緒に素材の違いを触って楽しむ。つるつる、ポコポコ、ざらざら、ふわふわなど言葉にしながら学習する。</p> <p>(3) 教師と一緒に形をなぞってみる。</p> <p>(4) 丸、四角、三角などの形を感じる。</p> <p>(5) 教師に読んでもらいながら、しかけをめくり楽しむ。</p> <p>(6) 色、鏡、キラキラするページを見て違いに気づき、目で見て楽しむ。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	4
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	よろしくともだち		発行者名	偕成社	
図書の内容	<p>きつねとおおかみが仲間と遊んでいると、こだぬきが仲間に入れてほしそうに見ている。こだぬきはおおかみが怖くて「よろしくね」が言えない。それを察したおおかみは、読んだ本に「つよいものほど やさしい」とあったことを思い出し、鏡の前で笑顔の練習をする。</p> <p>友達と仲良くなるために何をしたらいいのかを考えたり、相手を思いやることの大切さを感じたりすることのできる絵本である。</p>				
対象学年	小学部3年(特別学級)	障がい種別	病弱	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達が6歳程度の知的障がいのある心身症の児童である。日常生活においては、教師からの指示で、次の学習の準備や教室移動などスムーズに行うことがほぼできている。</p> <p>集団学習の場面では、不適切な言葉や乱暴な言葉を発することが、しばしばみられる。本児に悪気はなく、友達と一緒に活動したい気持ちが強すぎて興奮してしまうようである。</p> <p>友達と楽しく仲良く学習活動に取り組むために、自分がどうしたら良いのか、相手を思いやるとはどういうことなのかを考えるような学習を展開していきたい。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 教師の読み聞かせを聞く。</p> <p>(2) 黒板にこだぬき、きつね、おおかみの絵カードを貼り、登場人物同士の関係(距離感)を教師と一緒に確認する。</p> <p>(3) 物語に沿って、おおかみの行動と気持ちについて話し合う。</p> <p>(4) キーワードとなる「つよいものほど やさしい」「らんぼうものはよわむしだ」について感じたことや考えたことを発表する。</p> <p>(5) 友達と仲良くするには、どうしたらよいか、自分の考えをまとめて発表する。</p> <p>(6) 集団学習の場面で、自分が考えたような行動ができたか振り返る。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び特別学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	5	学校名
		担当者名

図書名	ことばキャンプ3 ことばのけいこ ことばをしるチカラ		発行者名	合同出版	
図書の内容	<p>「あではじまることばいくついえる?」「ことばがつながるしりとりしつてる?」「ていねいなことばでいえるかな?」など、状況にあわせて表現した言葉が、色彩豊かにおもしろく描かれている。クイズ形式でたくさんの言葉が掲載されているので、いろいろな表現を覚えることができる。</p> <p>言葉遊びをしながら楽しく学ぶことができるので、語いが豊富になるとともに、思考力を深めることができる図書である。</p>				
対象学年	中学部2年(特別学級)	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>聴力は、左右とも 90 dB の聴覚障がいと、軽度の知的障がいのある生徒である。日常生活動作は、ほぼ確立している。補聴器を介して、ある程度のコミュニケーションをとることができ、発音が不明瞭ながらも、手話を活用して積極的に会話することができる。平仮名と片仮名のほとんどを読んだり書いたりすることができ、絵本を読むことに興味がある。また、テレビのクイズ番組が好きで、内容を充分につかんでいなくても、見て楽しむことができる。</p> <p>様々な場面の言葉を覚えたり、会話を楽しんだりすることで、語いの獲得やコミュニケーション能力を高めることにつながると思う。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 自由に好きなページを読んで楽しむ。</p> <p>(2) いろいろな言葉を読んだり書いたりして覚える。</p> <p>(3) 絵本に出てくる言葉を使って会話をする。</p> <p>(4) 教師や友達と一緒に読んでクイズに答える。</p> <p>(5) 絵本に出てくる言葉を使って文を作る。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	6
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	うたっておぼえる九九のえほん	発行者名	世界文化社		
図書の内容	本書は、数字や数の出てくる歌を通して数字に親しむ、迷路や問題形式での数遊びをする、九九の歌を通して九九を覚えるという3部で構成されている。CD付きの絵本で、CDを聞きながら本を見る、又はCDを聞いて覚えるなど、子どもに応じて使用できると思われる。				
対象学年	小学部6年	障がい種別	知的障がい	該当教科	算数
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達が9歳程度の知的障がいの児童である。着替え、排せつ、食事などはほぼ一人で行うことができる。自分から、友達や教師に思っていることを伝えることが苦手で、次にすることの指示を待っていることが多い児童である。</p> <p>平仮名の読み書きは、毎日の繰り返しの中で覚え、ほめることで自信につなげ、意欲的に学習に取り組もうとする様子が見られる。</p> <p>数についてはとても興味があり、10までの合成分解はだいたいできるようになってきている。カラフルな絵やクイズ形式で構成されている本書は、教師と一緒に楽しみながら数の合成分解を学んだり、CDの歌を聞いたり歌ったりしながら数への興味を高めることのできる教材と考えられる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) CDを聞いて歌に親しむ。</p> <p>(2) 絵本のページを見ながらCDを聞く。</p> <p>(3) 「やってみようかずあそび」では、教師と一緒に数を数えて確認しながら迷路や問題を解く。絵が多くて集中できないときは、いらぬ情報を紙などで隠して提示する。</p> <p>(4) 具体物を提示し、実際に操作しながら考える。</p> <p>(5) 歌に合わせて動作をつけ、楽しく覚える。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	7
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名		おかしなおかし	発行者名		福音館書店
図書の内容		まんじゅうやビスケットなどのお菓子が、いろいろなスポーツに取り組む様子を短い文章で表現している。「ぷるぷる プリンが トランポリン」「ビスケットが バスケットで シュート!」など平仮名と片仮名が入り交じっている文章が多い。児童が楽しく読めるようなユーモアのある文章であるため、読み方を工夫して楽しく音読することができる絵本である。			
対象学年		小学部4年(特別学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科 国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>肢体不自由と知的障がいを併せ有する児童である。発達段階は4歳程度で、発音は不明瞭だが、友達や教師に自ら声を掛けておしゃべりするのが好きである。</p> <p>学習面では、平仮名と片仮名をおおよそ読むことができているが、「ね」と「わ」や「ヌ」と「ヲ」など、形が似ている文字では読み違えることがまだ見られる。また、平仮名と片仮名が入り交じっていると混乱するようで、音読の声が小さくなる傾向がある。</p> <p>本書を活用し、挿絵を見てイメージを膨らませながら、平仮名と片仮名が入り交じった文章を楽しく読む学習を展開させたい。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 自由にページをめくって絵を見る。</p> <p>(2) 教師の読み聞かせを聞く。</p> <p>(3) 一人で読む。</p> <p>(4) どのページのどの文章が難しかったか、また面白かったかを発表する。</p> <p>(5) 教師がいろいろなリズムを付けて、文章を読むのを聞く。</p> <p>(6) 自分で自由にリズムを付けて音読する。</p> <p>(7) リズムを付けたことで読みやすくなった文章を発表する。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び特別学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	8
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	子どもの生きる力を育てる せいかつの絵じてん		発行者名	ナツメ社	
図書の内容	<p>身に付けてほしい生活習慣の基礎、覚えておきたいマナーをはじめ、衣食住の基本や気持ちよく暮らすためのヒント、年中行事とその由来などを、イラストとともに分かりやすく解説した内容である。</p> <p>「茶わんのもちかた」「おにぎりを作ろう」「アイロンをかけよう」「正しいはみがきのしかた」などのいろいろな場面が掲載されているので、普段の生活を振り返りながら、自立に向けて役立てることができる図書である。</p>				
対象学年	中学部2年	障がい種別	知的障がい	該当教科	職業・家庭
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達が8歳程度の知的障がいのある生徒である。日常生活動作は、ほぼ自立している。平仮名の読み書きができ、簡単な指示を聞いて行動することができる。様々なことに興味・関心を示し、一人で取り組もうとする。放課後や休日は、家庭でテレビを見て過ごすことが多く、生活経験が少ない。食べるのが好きで、調理活動や買い物学習に積極的であるが、安全面などへの注意が足りない部分が見られる。</p> <p>具体的な場面のマナーや生活動作を学習したり、手順を確認しながら調理活動をしたりすることを繰り返すことで、自立に役立つと考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 興味のあるページを自由に見る。</p> <p>(2) クイズ形式で、場面に合う言葉や動作を話したりやってみたりして、生活動作を覚える。</p> <p>(3) 校外学習や宿泊学習などの事前学習において、食事マナーや入浴などについて確認する。</p> <p>(4) 絵本を見て手順を確認し、調理活動をする。</p> <p>(5) 学校生活のいろいろな場面で、教師や友達とやり取りしながら生活動作を身に付ける。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	9
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	ふしぎなふしぎなまほうの木		発行者名	ひさかたチャイルド	
図書の内容	<p>本書は、1ページ目に1本の枝のみの木が描かれていて、触ってみるように誘っている。そうすると、次ページでは葉が1枚加わって、今度はこすってみるように促される。すると次のページではつぼみがつき、花が開く。木を揺らしてみたと誘われると、今度は花が散り・・・というように、季節の流れに沿って話が進んでいる。</p> <p>読む側が、なでたりこすったり息を吹きかけたり揺らしたりしてページをめくると、木の様子が変わっていく。季節の移り変わりを楽しみながら、次はどのようなのか期待を膨らませることができる絵本である。</p>				
対象学年	小学部3年	障がい種別	知的障がい	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達に4歳程度の知的障がいのある児童である。周りの音や動きに気をとられやすく、一つのことに集中して取り組むことが課題と思われる。その時間に取り組むことをはじめに提示すると、見通しをもって取り組むことができるようになってきている。お話が好きで、簡単な絵本の読み聞かせなどをすると、よく聞いていて、話の流れを覚えている。</p> <p>教師が読むのに合わせて動きをつけたり、実際に自分の木を作ってみたり、楽しく会話をしたりしながらの学習ができると思われる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 教師に読んでもらう。</p> <p>(2) 教師が読むのに合わせ、ページを触ったり、こすったり、揺らしたり、息を吹きかけたりする。</p> <p>(3) 次はどのようなかな？と期待をもたせながらページをめくり、木の変化に気付く。</p> <p>(4) 画用紙に自分の木を描く。または、貼り絵にして楽しむ。</p> <p>(5) 季節ごとに実物の木を触ったり、葉っぱを触ったり、花を見たり、散っていく様子を見たりし、実際の様子を観察する。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	10
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	きょうのごはん		発行者名	偕成社	
図書の内容	<p>商店街で夕飯の買い物をする場面から始まり、ネコが各家庭から漂ってくるいにおいにつられるように、窓から食卓をのぞいていくという内容である。</p> <p>家庭の日常を切り取ったような食卓の料理は、どれも児童がよく知っている料理ばかりである。家の中の家具や日用品なども細かく描かれており、生活感も伝わってくるような絵本である。</p>				
対象学年	小学部6年(特別学級)	障がい種別	病弱	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達が5歳程度の知的障がいを併せ有する、内臓疾患の児童である。2年ほど前から胃の不調を訴えることが多くなり、食に対する執着が薄くなった。同年齢の児童に比べ、食事の摂取量も少ない状態である。</p> <p>平仮名を読むことができ、簡単な絵本を一人で読んで楽しむことができる。また、「これは〇〇だね」「学校の△△と同じだね」と身の回りの日用品などの絵を見つけて指差しながら、教師に教えている。</p> <p>本書は、家庭の食卓を中心に描かれているが、家庭にある日用品も数多く描かれている。興味を示す日用品の絵をきっかけに食卓へと目を向け、「食」に対する興味や関心を引き出したい。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 絵本を自由に読む。</p> <p>(2) 教師と一緒に食卓にある料理や背景の日用品などを確認しながら読み進める。</p> <p>(3) 興味のある料理や好きな料理について話し合う。</p> <p>(4) 好きな料理の作り方を図書室で調べ、まとめる。</p> <p>(5) 学級の調理活動として調べた作り方でその料理を作る。友達と協力して楽しく調理する経験をする。</p> <p>(6) 友達や教師と一緒に調理をし、食べた感想をまとめる。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び特別学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	11
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	ぬりえでめっちゃめっちゃあそぶっく	発行者名	ポプラ社		
図書の内容	<p>いろいろな場面や物、動物などがユニークなタッチで、ページいっぱい描かれている。平仮名で書かれた問題を読みながら、かわいいイラストの中から、アイテムを「さがして、みつけて、ぬりえ」ができる内容である。</p> <p>色鉛筆やクレヨン、ペンなどの好みの道具を使って、問題に合わせて塗ったり、好きな部分を自由に塗ったりすることができ、想像力を働かせながら、自分だけのオリジナル絵本として楽しむことができる。</p>				
対象学年	中学部 1 年	障がい種別	知的障がい	該当教科	美術
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達が 7 歳程度の自閉症の生徒である。日常生活動作は、ほぼ確立しており、簡単な言語指示を理解して行動することができる。平仮名や片仮名が分かり、身近でよく目にする看板やマークを読むことができ、漢字も少しずつ読むことができるようになってきた。絵本を見たり絵を描いたりすることが好きで、キャラクターの絵を描いたり、ぬり絵をしたりすることが多くみられる。はさみやのりを使っての制作活動にも意欲的である。</p> <p>楽しみながら絵さがしやぬり絵を行うことで、表現活動の広がりや、いろいろな作品づくりへの興味・関心を高めることが期待できる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 絵本を自由に見て楽しむ。</p> <p>(2) 教師や友達と一緒に読んで絵さがしをする。</p> <p>(3) 絵本を読みながらぬり絵をする。</p> <p>(4) 教師や友達の前で、自分のぬり絵を発表する。</p> <p>(5) 友達のぬり絵を見て、感想を話す。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の () は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	12
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	あそびのおうさまずかん ものなまえずかん		発行者名	学研マーケティング	
図書の内容	<p>暮らしの中の言葉が、「いえ」「まち」「そだてる」「しるし」「のりもの」などの、ジャンル別に掲載されている。身近な暮らしの中の言葉が、写真と共に示されていて親しみやすい。例えば「たべる」のページには、まな板、冷蔵庫、炊飯器、フライパン、ポット、おたまなど、日常目にする身近なものが数多く掲載され、児童の興味を引くものと思われる。</p> <p>また、「ごみはどこに行くの?」「でんきはどこからくるの?」などイラスト入りでの説明のページも掲載されており、より詳しく学ぶことのできる図書である。</p>				
対象学年	小学部 4年	障がい種別	知的障がい	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達が7歳程度の知的障がいの児童である。日常生活においては、着替え、食事の面で一部支援が必要である。友達や教師と話をすることが好きで、人の集まるところに行きたがる様子が見られる。</p> <p>平仮名を読むことができるようになり、簡単な絵本にも関心をもつようになってきたが、身近なものでも名前が分からなかったり、間違っていて覚えていたりする様子が見られる。</p> <p>本書は、身近な生活の中で目にする日常生活用品、遊びの道具、乗り物、犬、猫、花などが掲載されているため、本児にとって、正しい言葉を覚えたり、ものと言葉の一致ができたりする力が付くことが期待できる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 好きなページを自由に見る。</p> <p>(2) 教師が「これなあに?」と写真を指さして、名前を答える。または、正しい名前を覚える。</p> <p>(3) どういう場面で使うものかを教師と一緒に考えたり、話したりする。</p> <p>(4) 校外学習の事前・事後学習で、お店屋さん、道路標識、交通機関などの確認に用いる。</p> <p>(5) 本書で書かれているものの名前を、実物を見たり、生活場面と結び付けたりして理解する。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の () は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	13
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	音の出るはじめてのせかいちず		発行者名	ポプラ社	
図書の内容	<p>各ページの切り替えボタンを押してから、地図にある○印を押すとそれぞれの地域の名前や国の名前を音声で聞くことができる。また、もう一度○印を押すとその国の首都名も聞くことができる。最後のページでは、日本、ドイツ、中国などの十か国の国歌を聞くこともできる。</p> <p>自分で押して音声を聞いたり、文字を読んで確認したりすることができ、付属のポスターで国旗も合わせて確認したりすることができるので、世界地図に興味をもたせやすい図書である。</p>				
対象学年	中学部1年(特別学級)	障がい種別	病弱	該当教科	社会
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達8歳程度の知的障がいのある、内臓疾患の生徒である。体調を崩すと長期入院することもあり、体調管理に十分な配慮が必要な実態である。現在は体調が安定しており、家庭から通学している。</p> <p>学習面では、小学校2年生程度の漢字の読み書きができ、図鑑を見るのが好きでよく図書室で図鑑を楽しんでいる。また、ロゴマークや交通標識の絵を描くことが好きで、描いた絵を友達や教師に見せている。</p> <p>ニュースで「世界遺産」という言葉を耳にし、「世界」にはいろいろな旗があることを知り、国旗に興味をもち始めている。本書は、世界の地域、国の名前を音声で確認することができ、国旗を覚えるだけでなく、自分が住む日本と世界の国々の位置関係を知るなど、世界へ目を向ける導入の教材として適切だと考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 本書に自由に触れて見たり、音声を聞いたりする。</p> <p>(2) 地図とポスターの国旗を照らし合わせ、どの国の国旗かを確認する。</p> <p>(3) 白地図に色を塗ったり、国名、首都名を書いたりする。</p> <p>(4) 別紙に国旗を描いて、色を塗った白地図に貼り付ける。</p> <p>(5) 図書室で調べたそれぞれの国の特産物なども書き込む。</p> <p>(6) 白地図を貼り合わせ、大きな世界地図を完成させる。</p> <p>(7) 学習を通して、どこの国に興味をもったかなどを発表する。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び特別学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	14	学校名	_____
		担当者名	_____

図書名	あこがれお仕事いっぱい! せいふく図鑑		発行者名	学研	
図書の内容	<p>「ハンバーガー屋さん」「消防士」「美容師」「お花屋さん」など、19の職業について、制服やユニフォーム姿を通して、おもしろく楽しく紹介している内容である。すべてのページにふりがなが付いており、実際の働いている様子が、写真とともに分かりやすく説明している。</p> <p>将来の自分の仕事について考えながら、興味のある職業に関して知識を深めることができる図書である。</p>				
対象学年	中学部2年(特別学級)	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	職業・家庭
選定の理由	児童生徒の実態	<p>聴力は、左右とも 80 dB の聴覚障がいと、自閉症を併せ有する生徒である。補聴器を介して、ある程度のコミュニケーションをとることができ、日常生活動作は、ほぼ自立している。学習面では、平仮名や簡単な漢字の読み書きができ、電卓を使用して計算もできる。指先が器用で、部品の組み立てなどの課題学習に取り組むことができる。職場見学や施設見学などを通して仕事について学習してきたが、具体的な仕事について考えるまでに至っていない。</p> <p>様々な職業について情報を得たり、知識を深めたりすることで、将来の生活ややりたい仕事について考えることに役立つと思われる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 興味・関心のある職業のページを教師と一緒に読む。</p> <p>(2) 解説を読んだり、職業名や仕事内容などを書き出したりして、様々な職業について知る。</p> <p>(3) 知っている職業について話したり、興味・関心のある職業について調べたりする。</p> <p>(4) 職場見学や現場実習の事前学習において活用し、様々な職業について知識を深める。</p> <p>(5) 家族の仕事について聞いたり、身近な職場を見学したりして、様々な職業について知る。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	15
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	みんなのためのルールブック		発行者名	草思社	
図書の内容	<p>学校の中や社会の中で必要とされる基本的で大切な 50 のルールが、分かりやすい言葉で書かれている。実際にどう言ったら良いか、どう行動したら良いかなど具体的に示されていて、状況をイメージしやすくなっている。ルールのみでなく、どうしてそうしなくてはいけないか、そのルールを守ることでどのような良いことがあるのかなども簡潔に書かれている。</p> <p>実際に、校外学習や実習など学校の外に出る行事の事前学習としても活用できると考えられる。</p>				
対象学年	中学部 3 年	障がい種別	知的障がい	該当教科	職業・家庭
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達に 10 歳程度の自閉症の生徒である。基本的生活習慣はほぼ確立しているが、人とのコミュニケーションがうまくとれずにいることが多く、教師が間に入って場に応じた話し方や、気持ちの伝え方などを具体的に示すことが必要な生徒である。①〇〇、②△△・・・など、すべきことや決まりなどを簡潔に示すことで、目で見ても確かめながら自分で課題に取り組んだり、決まりを自分なりに理解したりすることができる。</p> <p>実際に困った場面に遭遇したときにどうするか、経験を重ねていくことが必要な生徒である。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 他の人と生活していく上で、どんなことが大事なのかを考える。</p> <p>(2) 校外学習などの事前学習で、約束事の確認をする。</p> <p>(3) 振り返りの学習で、ルールを守ることができたか教師と一緒に読み直したりして、学習を深める。</p> <p>(4) 「こういう時はどうする？」といったクイズを出したり出してもらったりして、学習を深める。</p> <p>(5) 寸劇形式で役割分担をし、適切な話し方、対処の仕方を学習し、日常の中で活用する。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の () は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	16
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	からだたんけん	発行者名	岩波書店		
図書の内容	<p>フリズル先生と主人公は、科学博物館に遠足へ行くはずだったが、食いしん坊のアーノルドの体の中へスクールバスごと入ってしまう。そして、アーノルドの胃や小腸、血管、心臓、脳などを探検しながら体の仕組みを学んでいくという構成になっている。</p> <p>臓器だけではなく、血液中の赤血球や白血球、脊髄にも触れている。またページの左右はじめには、「血液は1ぷんもかからないで、からだじゅうをまわってしまいます」などの豆知識となるメモもあり、体の仕組みを詳しく学ぶことができる図書である。</p>				
対象学年	中学部2年(特別学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	理科
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達が7歳程度の知的障がいを併せ有する肢体不自由の生徒である。両下肢に機能障がいがあり、日常生活は車椅子で過ごしている。車椅子を自力で操作することができる。</p> <p>休み時間に友達と好きなアニメやゲームのキャラクターの話をすることを楽しみに毎日登校している。しかし、呼吸器が弱いため、風邪を引くと欠席が長引きやすい。過去には肺炎になり、長期間入院したこともある。そのため、自分でも健康管理を意識するようになり、手洗いやうがいを自ら進んで行っている。</p> <p>今後健康を維持するためにも、自分の体について知ることが必要だと考える。本書を活用して自分の体の仕組みや働きについて知り、健康管理のためにどんなことに留意して生活すればよいかを自分で考える学習に発展させたい。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 自由にページをめくって見る。</p> <p>(2) 教師が読むのを聞く。</p> <p>(3) 模造紙の上に横になり体の型を取る。</p> <p>(4) 物語に沿って自分の体のどこの部位の話かを確認する。</p> <p>(5) その部位の働きや役割についてまとめる。</p> <p>(6) 確認した部位を体の型(模造紙)に書き込む。</p> <p>(7) 全身ができあがったら、ポスター発表する。</p> <p>(8) 健康のためにできることを確認する。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び特別学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	17
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	にほんいっしゅう ちずのえほん		発行者名	PHP 研究所	
図書の内容	<p>本書は、渡り鳥のツバメさんと一緒に日本列島を旅しながら、日本の地図、地理をイラストや写真で学べる内容である。</p> <p>「かんとうちほう」「とうほくちほう」「ほっかいどうちほう」など、各地方の特色について解説している項目のほか、「やまのたかさくらべ」「にほんにすむどうぶつ」など、日本にまつわる興味深い項目で構成されている。ふりがな付きでやさしい文なので、日本各地の食べ物、特産品、名所などについて楽しく学ぶことができる図書である。</p>				
対象学年	小学部 6 年 (特別学級)	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>聴力は、左右とも 90 dB の聴覚障がいと、知的発達に 7 歳程度の知的障がいのある児童である。補聴器を介してある程度のコミュニケーションはとれるが、獲得語彙が少なく、手話によるコミュニケーションが中心である。学習面では、平仮名が分かり、指を使いながら一桁のたし算ができる。バスや新幹線などの乗り物にとっても興味があり、乗り物の絵本や DVD を見て楽しむことが多く、家族と県内外への旅行経験もある。</p> <p>日本各地の地理や特色を調べたり、行ってみたい所や食べてみたい名産品について話したりすることを通して、知識や理解を広げていきたい。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 絵本を自由に見る。</p> <p>(2) いろいろな地域、都道府県名を覚える。</p> <p>(3) いろいろな地域や都道府県の名所や特産品について知る。</p> <p>(4) にほんちずクイズに答える。</p> <p>(5) 修学旅行の事前学習として行き先の地域について理解を深める。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の () は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	18
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	新・点字であそぼう		発行者名	社会福祉法人 桜雲会	
図書の内容	<p>本書は、点字の形を覚える、読んでみる、書いてみるなど簡単なレッスン形式で構成されており、点字に親しむ目的で作られている。点字を遊びの感覚で学習し、楽しく身に付けることのできる内容となっている。</p> <p>点字シールを学習に取り入れることで、ゆっくり楽しみながら日常生活で使われる言葉を学習することができると思われる。また、町で見かける点字や、点字ブロックについての紹介により、体験的な学習を進めることができると考えられる。</p>				
対象学年	中学部3年(特別学級)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>両眼視力0.05程度の弱視の生徒である。日常生活全般において一部又は全面的に支援を必要とする。学習には意欲的に取り組んでいる。</p> <p>現在は視覚を使って学習しているが、視機能の低下に伴い、点字を使用した学習に切り替えることも考えられる。知的障がいも伴っているため、すべてを点字で学習することは困難と思われるが、日常生活に必要な言葉を形として覚えることで、学校、家庭での生活において少しでも自分で取り組むことが増えたらよいと考えられる。実際の体験を通し、興味を持って点字に親しむことができればと考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 点字シールをつけ、指で触りながら教師と一緒に声に出して読んだり、クイズにして楽しんだりして取り組む。</p> <p>(2) 自分の名前、家族の名前、身近な人の名前など、教師に点字にしてもらい、触る、見るなどしながら点字に慣れると共に、形を覚える。</p> <p>(3) 校外学習において、町の中で見かける点字、生活の中にある点字を探し、学習の成果を確認しながら興味を広げる。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

(様式 2 - 2)

一般図書選定の理由書

番号	19
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	ともだち	発行者名	玉川大学出版部		
図書の内容	「ともだち」ってどんな人なのか、「ともだち」にはどう接するのがいいのか、「ともだち」がいればどんないいことがあるのか、など自分にとっての「ともだち」の存在について、あるいは「ともだち」とのかかわり方について考えることができる図書である。 本書は、見開きで一文のみのシンプルな構成となっている。余計な背景など一切なく、文章をイメージしやすい挿絵となっているため、生徒が内容を理解しやすいと考える。				
対象学年	中学部 3 年 (特別学級)	障がい種別	病弱	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	知的発達 7 歳程度の知的障がい、不登校による学習空白のある心身症の生徒である。小学校 1 年生程度の漢字を読むことができる。施設から通学している。 施設や学校で一緒に活動してきた先輩が中学部を卒業し、それぞれ高等学校や支援学校の高等部へ進学するのを見てきた。自分自身も中学 3 年になるということで、卒業後を意識し始めている。その一方で、「どうせ、別の学校になるし」と友達に対して投げやりな態度を見せたり、乱暴な言葉を使ったりするようになってきた。 今まで一緒に学習してきた友達との関係を振り返り、見つめ直すことで卒業後も友達でいられること、これからも新しい出会いがあり新しい友達ができることを理解することで心の安定を図っていきたい。			
	指導の概略	(1) 「ともだち」とは何かを考え、学習シートにまとめる。 (2) 「ともだちって」「ともだちなら」「ひとりでは」「どんなきもちかな」「けんか」「ともだちはともだち」「あったことがなくても」それぞれのテーマごとに教師の読み聞かせを聞いたり、自分で読んだりする。 (3) テーマごとに自分の考えや感想を学習シートにまとめる。 (4) 各テーマのまとめ学習シートを振り返り、自分にとって「ともだち」とはどんな存在なのか、どんな関係でいたいのかを考え、作文にまとめる。			

(記入上の注意)

- 対象学年の () は、訪問教育及び特別学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

(様式 2-2)

一般図書選定の理由書

番号	20
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	音と光の出る絵本 こぶたキッチンもりのレストラン		発行者名	成美堂出版	
図書の内容	<p>3匹のこぶたのコックが、レストランで注文を受ける場面が設定され、コンロが光ったり、水道や調理音がしたりする音と光の出る絵本である。</p> <p>ハンバーグやオムライス、ピザなどの食べ物パーツ、包丁やフライパンなどの調理器具が付いており、料理が楽しくなるメロディも収録されている。</p> <p>絵本を見ながらメニューを作ってみたり、調理器具を片付けたりして、調理活動の導入として活用できる内容である。</p>				
対象学年	小学部4年(特別学級)	障がい種別	知的障がい	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達が3歳程度の知的障がいと肢体不自由がある児童である。</p> <p>着替えや食事などの日常生活動作は、支援を必要とする部分もあるが、自分でやろうとする意欲がみられる。食べ物に興味があり、食べ物の写真や絵本を見て楽しむことができる。家庭では、夕食の準備を手伝ったり、外食したりすることが多く、食べたいメニューを指差したり話したりできる。また、音楽に合わせて歌ったり踊ったりと、にぎやかな雰囲気を楽しむ。</p> <p>絵本を見ながら、食べ物や調理器具の名前を覚えることに役立ち、実際の調理活動への導入として意欲の向上につなげることが期待できる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 絵本を自由に見たり、ボタンやスイッチを操作したりして楽しむ。</p> <p>(2) 食べ物や調理器具の名前を覚える。</p> <p>(3) 絵本を見ながらボタンやスイッチを操作して、好きなメニューを作る。</p> <p>(4) 好きな食べ物や食べたいメニューについて教師と一緒に話す。</p> <p>(5) 絵本のメロディを聞いたり、食べ物に関係する歌を歌ったりする。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。